

ゆうパネル施工手順



1 基礎に溶接用鉄筋を埋めておく。



2 4ヶ所のサポート筋で固定する。



3 内側にて作業をし、パネルを組み立てていく。



4 打設高は1.5m未満とする。(パネル1枚に4本のサポート筋の場合)

組付パターン

垂直型組付

勾配型組付

1. あらかじめ全面の法長を算出し、勾配対応分の調整台をセットする。
2. 基礎工事でアンカーをセットする。
3. ゆうパネルの上弦筋へφ 10 以上 (標準φ 13) の鉄筋を1枚当たり4本、サポートとしてセット (溶接) する。
4. コンクリート打設時のずれ・浮き防止用のサポート筋をセットする。

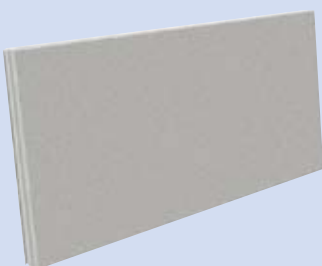
折り曲げ型組付

1. 前工程のコンクリート打設時にアンカーをセットする。
2. サポート筋 (ずれ・浮き防止鉄筋) をセットする。
3. ペースト漏れ防止用に接合部にコーキングをする。

PRODUCT-1 ゆうパネル(割石)



PRODUCT-2 ゆうパネル(カツ面)



●参考歩掛表(撤去無し)

名称	単位	滑面	化粧
世話役	人	1.8	2.0
型枠工	人	3.3	3.4
普通作業員	人	3.5	3.6
機械賃料	日	1.1	1.2
ゆうパネル	m ²	100	100
諸雑費率	%	13	13

- ※ 1. 国土省土木工事積算基準に準拠する (平均設置高 30m 以下)。
- ※ 2. 諸雑費は、電気溶接機、コンクリートカッター等に関する経費等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上。
- ※ 3. 水抜きパイプ材料は、必要量を別途計上。
- ※ 4. 半径 10m 以下の円形部分には適用しない。
- ※ 5. クレーンは、ラフテレーンクレーン 25t 吊りを標準とする。

側溝類
管渠・暗渠類
カルバート類
道路類
残存型枠・シートライニング
擁壁類
L型擁壁類
水路類
河川類
機能性コンクリート
その他